

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	オレンジハウス（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 11日		～ 2025年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 21日		～ 2025年 11月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもは通所を楽しみにしていますか。	通所を楽しみにできるように、一人ひとりの興味やその日の気持ちに配慮した関わりを大切にしています。場合によっては、活動内容を一律に決めるのではなく、子どもが選択できる場面を設けたり、得意なことや好きなことを活動に取り入れることで「やってみたい・楽しい」と感じられる経験につながるよう工夫しています。	通所を楽しみにしている要因を振り返り、「楽しかった・また来たい」と感じた場面を職員間で共有しながら支援に活かしていきます。具体的には、興味やその日の気持ちの変化を丁寧に捉え、活動内容や関わり方を柔軟に調整することで、一人ひとりにとって心地よい通所体験へつなげていきます。また達成感を感じられる機会を意識的に積み重ね、成功体験を通して自信や意欲に繋がる支援を継続します。
2	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	日々の支援終了後にその日、関わった職員全員で振り返りを行い子どもの様子や変化、関わり方について共有しています。職員1人の見立てにかたよらず、複数の視点から、子どもを捉えることで、より客観的な理解につながるよう努めています。	継続してきた日々のアセスメント・モニタリングを土台としながら、支援の視点や記録の質をより高めることを取り組んでいます。子どもの行動だけでなく、「背景にある要因」や「環境との関係性」まで意識して支援する。
3	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	一方的な指導にならないよう配慮し、保護者様の思いや状況を丁寧に聞き取ることを大切にしています。具体的には、家庭での困りごとや不安を共有してもらい、事業所での関わりや子どもの様子を踏まえた助言を行っています。また行動や発達背景について、事業所での視点をわかりやすいことばで伝え、家庭で無理なく取り入れられる関わり方を一緒に考えることを意識しています。	保護者様との日常的なやりとりの中で、困りごとや不安を早めに共有できるような関係づくりを大切にし、助言の内容についても家庭で実践しやすい形となるよう工夫していきます。家庭と事業所が連携した継続的な支援につなげていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	非常災害時に備えた避難訓練については、長期休み期間中に年2回実施しているものの、実施内容や目的について、保護者様への周知が十分とはいえない状況があった。	避難訓練を継続するとともに、実施内容やねらいについて周知の強化をしていきます。 また、訓練を単発で終わらせるのではなく、日常の支援の中でも災害時の行動や約束を確認する機会を設け、安心して行動できるよう支援につなげていきます。
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	各種マニュアルは策定され、職員の研修も年間計画のもと実施しているが、保護者様への周知が十分ではなかった。	保護者様への周知をより丁寧に行う。具体的には、契約時や年度はじめなどの機会を活用し、事業所の安全管理体制について説明します。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	父母の会等については、開催の必要性を認識し、夏休みに親子で参加できるイベント（夏祭り2025）の実施を予定していましたが、雨天のためやむを得ず中止となり実施には至らなかった。	父母の会や保護者会の開会を計画的に確保できるよう、天候等の影響を受けにくい実施方法を検討していきます。